

第 8 次多治見市総合計画基本計画の変更（追加）について

災害時の避難所環境を充実させるため学校体育館に空調を整備します。この事業を第 8 次多治見市総合計画の基本計画事業に追加するため、総合計画基本計画の変更を令和 6 年 9 月議会に提案します。

1 基本計画変更の内容

【変更前】

政策の柱 3 元気で安心して暮らせるまちづくり		
施策 5 地域防災・防犯対策		
8 的確かつ自主的な早期避難を促すため、地域特性を踏まえた防災計画の策定を支援します	企画防災課	
9 自主防犯活動を支援するなど、地域の安全向上に努めます	くらし人権課	

【変更後】

政策の柱 3 元気で安心して暮らせるまちづくり		
施策 5 地域防災・防犯対策		
8 的確かつ自主的な早期避難を促すため、地域特性を踏まえた防災計画の策定を支援します	企画防災課	
9 避難所環境を充実させるため、小泉小学校と陶都中学校の体育館に空調機を整備します	企画防災課	
10 自主防犯活動を支援するなど、地域の安全向上に努めます	くらし人権課	

2 経緯

避難所としての学校体育館への空調整備については、これまで「他自治体の動向を注視しつつ、笠原小中学校体育館に空調を設置し、その効果検証を経て整備方針を決定する」方針としてきました。

しかしながら、本年 1 月に発生した能登半島地震では、災害関連死への対策が改めて課題視され、特に避難者の健康に大きく影響する避難所室温管理の重要性が指摘されました。

本市では、この災害教訓を踏まえ、早期の避難所空調整備が必要と判断したため、対象施設を限定した上で令和 7 年度中に実施します。

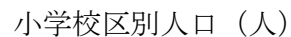
3 避難所空調整備の方針

(1) 空調整備対象施設の選定

厳しい財政状況の中、最小限の投資で事業効果の最大化を図るため、想定避難者数が多い人口集積地域に範囲を絞り込み、その範囲内で空調整備避難所の配置を分散しました。公共施設管理の観点も踏まえて検討した結果、陶都中学校と小泉小学校の体育館の 2 施設を対象施設に選定しました。

(2) その他の避難所への空調整備

空調整備対象避難所の拡大については、費用対効果や財政負担等を検証した上で今後検討します。



養 正	8,090
精 華	14,671
共 栄	4,509
昭 和	7,767
小 泉	11,499
池 田	5,708
市之倉	5,712
滝 呂	8,695
南 姫	4,400
根 本	11,112
北 栄	8,842
脇之島	5,693
笠 原	9,015
計	105,713

川北・川南に2か所ずつ
空調整備避難所を整備

事業費の概算は次のとおりです。なお、財源には、令和7年度末までを期限とする有利な地方債「緊急防災減災事業債（充当率 100%、交付税算入率 70%）」を活用し、一般財源の負担軽減を図ります。

避難所	初期費用	空調範囲
陶都中学校	163,000 千円（交付税：114,100 千円、一財：48,900 千円）	アリーナ、武道館
小泉小学校	99,000 千円（交付税：69,300 千円、一財：29,700 千円）	アリーナ

R6	8・9月	9月議会提案・議決（総合計画変更・補正予算）
	10月～2月	実施設計業務委託契約締結～業務～完了
R7	5・6月	6月議会提案・議決（工事請負契約）
	7月～3月	工事請負契約締結～施工～完了